



よさの三四の森の会

畏敬と感謝のこころを大切に森を育む環

昔はキコリが山に入る時、山の神様へのお供えとして、三本と四本の縁を刻んだ斧を木に立てかけて、森の恵みに感謝し安全をお祈りしていました。

三には、(ミキ)お神酒、(ミズ)水、四には、(ヨキ)四つの気(太陽、土、水、空気)、清めの(シオ)塩の意味が込められています。

自然への畏敬と感謝の思いを大切に、森の手入れや利活用を考え実践しよう、三と四を会の名前に刻みました。

よさの三四の森の会は自然も活き、人も元気になる豊かな暮らしを目指して、力を合わせていく会です。



森を元気に！

山は木が立込み過ぎていると、陽当たりが悪くなり、元気に木が育ちにくくなります。

木々がしつかり根を張れないと山は保水力を落とし、ミネラルいっぱいの水を蓄えたり、大雨に耐えられなくて、土砂崩れの心配も出てきます。

森が元気だと、山がしつかり水を蓄えることができます。

山に水を蓄えられ、山の中で雨水が浄化できたり、山のミネラルが水に蓄えられています。

山の力を蓄えた水が川にそそがれると、川や畑も元気になります。

川の水がそそがれてゆく海も元気になります。

豊かな自然の活力や恵みを受けて、人も元気になります。

かうだいっぱい
こころいっぱい
森の魅力を
たっぷり知ろう！



よさの三四の森の会は、森の間伐(立込む木々の間引き)をしたり、伐倒した木を次に使えるエネルギー資材に回したり、木材の活用をしながら、山の手入れをする活動をしています。

人が自然に触れて関わる機会をつくり、自然を大切にしながら元気になれる場所を作っていきたいと思っています。

よさの三四の森の会
Facebook page

お問合せ・申込み連絡先

E-mail : yosano34nomorinokai@gmail.com

よさの三四の森の会 Facebook Messenger

